

ことば遊び ～ 早口ことばを言って遊ぼう！ ～

令和3年4月のことば遊びで、口や舌を動かす遊びを紹介しました。口や舌がうまく動かせるようになると、音から音へ滑らかにつながることができ、うまく発音できるようになります。早口ことばは、言葉の音やリズムの楽しさを味わいながら遊びます。初めはゆっくり挑戦し、少しずつスピードアップしたり、繰り返したりして遊びましょう。家族皆さんで挑戦し、言いにくい面白さも味わいながら楽しみましょう。

① まずは、口や舌の準備体操をしよう！

☆口唇をしっかり動かそう！

- ・まめまめまめまめ
- ・ばぶばぶばぶばぶ
- ・ぴぽぴぽぴぽぴぽ
- ・ぼむぼむぼむぼむ

☆舌の先をしっかり動かそう！

- ・たてたてたてたて
- ・たなたなたなたな
- ・つちつちつちつち
- ・のどのどのどのど

☆舌の奥をしっかり動かそう！

- ・かきかきかきかき
- ・けかけかけかけ
- ・こぐこぐこぐこぐ
- ・げきげきげきげき

② 口や舌をしっかり動かして、早口ことばに挑戦しよう！

☆ことばをつなげて言ってみよう！

- ・なまばなな なまばなな なまばなな
(生バナナ 生バナナ 生バナナ)
- ・あかぱじゃま あおぱじゃま きぱじゃま
(赤パジャマ 青パジャマ 黄パジャマ)
- ・なまむぎ なまごめ なまたまご
(生麦 生米 生卵)



☆短い文に挑戦しよう！

- ・かけっこで こけかけた
- ・バナナのなぞは まだなぞなのだ
- ・レモンも メロンも ペロンとたべた
- ・ちょうちょ ちょっと とってちょうだい
- ・にわには 2わ にわとりがいる
- ・すももも ももも もものうち

読んでもらって、
真似てみよう！



遊びのポイント！

初めは単語ひとつを繰り返し、慣れてくると短い文へと、だんだん長くして挑戦しましょう。自分がぎりぎりできる速さや長さに挑戦することで、記憶する力も鍛えられるそうです。大人も言いにくいことばの面白さを感じながら、早口ことば遊びに挑戦することで、脳を活性化させましょう。



～生きる力をはぐくむ～

保育所(園)・幼稚園・子ども園では子ども達の活動が制限される中、最大限の体験活動を保障したいと取り組んでいます。子どもは耳からではなく体験から学びます。教えて、呑み込ませて、出来たとしてもその子自身の生きる力、育とうとする力が備わる訳ではないのです。それではどうすれば？

8月号でもご紹介しましたが、ご家庭では「共同作業」である「お手伝い」をおススメします。台所の手伝いが最適でしょう。食に関わる事は命に直結するとても大切なものです。最初から最後まで見守るため、あまりさせたくないお手伝いの一つかもしれませんね。子どもの力を見極め、任せる内容を考えて子どもの力を信じる。



手を伝って子どもに伝わる「お手伝い」。保護者のモデルを通し、体験から学ぶ事が子どもにはたくさんあります。おうち時間を「一緒に」やっていきましょう。

幼児教育センターは、就学前から小学校教育へつなぎます。
夢と希望のもてる たからっこを
応援します！

宝塚市教育委員会 幼児教育センター

〒665-8665 宝塚市東洋町1-1

電話 0797-71-1141(市役所)

0797-77-2132(直通)

FAX 0797-71-1891

E-mail m-takarazuka0289@city.takarazuka.lg.jp



★ 発達、就園・就学等の相談がありましたら、上記にご連絡ください。